

**祝
50歳の主婦が
東京大学文系に
合格!!**

武道館での式には夫も駆けつけ来てくれた

度 東京大学入学

**安政真弓さん
が実践してきた
『老けない脳の作り方』**

今まで兵庫で主婦をしていましたが、夫も駆けつけ来てくれた

「どこにいるの？ えつ、正面に？ 私も同じあたりだと思うんやけど……」

4月12日。日本武道館で東京大学の入学式が行われた。式終了後、取材に来た報道陣、晴れがましい新入生でごった返すなか、夫が見当たらず、携帯電話を片手に、ボツンと立ち尽くす女性の姿が……。

どちらかというと、子供の入学式に参加した保護者に見えるが、実は彼女、50歳に

いまや空前のお勉強ブームだが、『趣味の勉強。を究めたい』と、50歳にして最難関の東大に挑戦する女性はそうはない。18歳にも食けないその若々しい脳はどうやって作られたのか？

すでに有名人！ 入学式でテレビの取材を受けた

して東大文系の新入生となつた安政真弓さん。ついこのあいだまで兵庫で主婦をしていた方だ。

「歴史と語学が好きで、主婦を続けながら、独学で勉強していました。もう50歳。このまま家で一人で好きな勉強をして生きていくのかなと思つていたけど、この年になつて人生が変わるとは思いませんでした」

30歳以上、年下の同級生たちのなかで、少し恥じらい気味な笑顔を浮かべる。

京都大学に挑戦するが、夢かなわぬ浪人生生活に。2度目、3度目は東大を目指し勉強したが不合格……。

「両親は『通るまでやつたら』と思つたのだろうか。安政さんは62年、兵庫県姫路市生まれ。幼いころから文学や歴史が好きで、中学時代は司馬遼太郎の歴史小説を読みあさり、大河ドラマを欠かさず見ていた。

地元の名門県立高に進学し、「サーカルに参加したり、一生の友達ができたり、楽しい学校生活でした。でも、毎日の満員電車は苦手だったし、卒業後は生まれ育った姫路でのんびりした生活をしようと思つてました。『地元の塾で働きばいいんじゃない？』と両親に言われて、まあいいかあつて」

26歳でお見合い結婚。27歳で長男を、その後に二男を出産。子育て時期は完全に専業主婦だった。

「ごく平凡な主婦でした。家庭を守り子供の世話をすることが、いちば大事なことだと思ってました」

だが、毎日の勉強は欠かさなかつた。

「外で体を動かすことより、話家で歴史の本を読んだり、語学の勉強をするのがなによりも楽しい。自分の好きな勉強をするために、家庭教師や学習塾のパートとか、比較的自



「ヨーロッパの歴史が好きで、専門書をたくさん読みました。実際に、自分で日本の目で遺跡を見たくて、自分が高校に入ったから、バートでお金を貯めては、年に1回、一人で海外旅行に行く。これがいちばんの私の貴賛でした」

「海外に行きはじめたころから、いつそう語学に熱が入るようになつた。『NHK』の語学講座を見たり、語学教室に通つたりしながら、フランス語やイタリア語、ドイツ語を勉強していました。自分でも不思議なんですが、一度没頭しはじめると、何時

す」と自分の気持ちを封印していた…

2人の子供は、安政さんと一緒に地元の名門高校に進学。自分方が果たせなかつた東大に行くという夢をかなえてほしいと思うようになつた。

「昨年のことです。早稲田大学の卒業25周年の同窓会が東京市内ですが、受験以来初めて東京大学にも足を運んでみたんです。駒場は若々しくて、本郷キャンパスの赤門は厳しくて。ベンチに座っている学生を見て、いるところが、もう感動的です。おまけに、明会に参加したときのことが、とても強烈な印象でした。」

「毎年、手帳に目標を書いて、一年で何を達成するか、それを記録していくのですが、自分の気持ちは、も終わつていなかつたし」と、期待していた二男は不合格だった。昨年の6月、二男の予備校の保護者説明会に参加したときのことだ。

「試しだけで、担任に『昔あきらめ

息子たちも「いいんじゃやない！」と応援してくれました。そして、9ヶ月間だけの受験生。30年ぶりに、青春時代が戻ってきたようだった。

ちなみに、一緒に応援し合った東大は、合格で、早稲田大学へ入学。「今年から、息子と同じ年生」ですね(笑)。

それでも、50歳といふ年齢。「物忘れが増えた……」という同世代のぼやきも多なかな、いかにして、能力をアップさせていったのか? きっと、特別な「脳トレ」方法があるに違いない! その手法を探るべく、安政さんの活スタイルを聞きながら、詰が分析してみた。

脂質の代謝を上げて
体脂肪を落とす
ビスラット
ゴールドa

昔のように運動しても、食事に気を
なんの方にお薦めしたいのが、小林
です。「ビスマット ゴールド aJ」は、
脂質の代謝を上げることによ
り、余分な脂肪を落として肥満
症を改善し、便秘を治してくれ
る医薬品です。

A small, rectangular sachet of Bi-Splat yogurt drink. The label features the product name at the top, followed by "ヨーグルト" (Yogurt) and "低脂肪" (Low fat). Below this, there's a large image of a yogurt container with a spoonful being eaten. The bottom part of the label has the text "体脂肪を落とす" (Lose body fat) and "1日1本" (1 bottle a day).